

06

愛着のある家と暮らしを守った、 新しい「これから」への選択肢。

CENTURY 21

お客様PROFILE

●職業／会社員 ●家族／夫婦2人・子ども1人 ●物件／一戸建て



マイホームを購入後、 住宅ローンが重荷に。

今から約25年前に大手住宅メーカーで注文住宅を建てました。ゆとりある暮らしのためにと延床120m²超の広いマイホームです。月々の返済は15万円、ボーナス返済時は20万円。当然「払っていける」という自信のもとに住宅ローンを組みましたし、問題なく返済を続けてきました。しかし年齢とともに上がると見込んでいた収入は想定していたほどではなく、一方で大学進学を控えた子どもの教育費は増え続けます。毎年の固定資産税もばかにならず、次第に月々の返済が困難に。やがて支払が滞るようになり、ほどなく自宅は差し押さえられる寸前。いよいよ追い詰められてしまったときインターネットで「リースバック」を知りました。

「リースバックしかない」。 即座に利用を決断。

娘が大学進学を控えているという大切な時期でしたので、どうしても生活環境を変えたくなかったんです。厳しい状況のなか、薦めにすがる気持ちで自宅の査定を依頼。提示された買取額は、住宅ローンと税金の滞納額を相殺できる価格でした。これしか選択肢はないと思い、「リースバック」の活用を即日に決断。何年ぶりかにほつと胸を撫で下ろす思いがしたものです。住み慣れた場所で暮らし続けられるということ。そして自宅から通学したいという娘の要望を叶えることができ、大変満足しています。先のことはわかりませんが、このまま賃貸生活を続けるもよし、娘と親子リレー返済での買い戻しを検討するもよしと、未来に選択肢を与えられたことで気持ちも楽になりました。



- 住宅ローン・固定資産税の支払が苦しい。
- 愛着あるわが家の差押えを回避したい。
- 子どもの教育環境を変えたくない。
- 将来的に買い戻しも検討したい。